記入要項

１． 履歴書

1. 氏名（自署）、ふりがな、生年月日、本籍のある都道府県名、現住所、連絡先の電話番号、Ｆａｘ、E-mailアドレスを記入のうえ、写真（上半身）を貼付してください。
2. 学歴は、高等学校卒業以降の学歴を記入してください。
3. 職歴は、全ての職歴（所属名(講座、部門、分野、部課等)、職名等(非常勤の場合は職名の後に(非常勤)と記入)）を記入してください。
4. 賞罰・処分歴等には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載すること。

※ 記載内容について虚偽の記載があった場合は、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることがあります。

２． 調査書（様式１：調査書記入例に従って、作成してください）

1. A4用紙を使用し、余白は、上25mm、下30mm、左右各25mm、1ページ行数は38行としてください。
2. フォントサイズは11ポイント、和文は全角・MS P明朝、欧文、数字及び記号（カッコ、ハイフン）は半角・Times New Romanとしてください。
3. 文頭の氏名には、ルビ機能（ルビサイズは6ポイント）により、ふりがなを付けてください。
4. 「1.学歴」は、高等学校卒業以降の学歴を記入してください。
5. 「3.職歴」は、全ての職歴（所属名(講座、部門、分野、部課等)、職名等(非常勤の場合は職名の後に(非常勤)と記入)）を記入してください。なお、大学等において非常勤講師の経験がある場合、本務の場合は「3.職歴」に、兼務の場合は「12.特記すべき事項(2)その他の特記すべき事項」に、それぞれ記入してください。
6. 「4.著書」は、発表年次順に記入（応募者氏名に下線）してください。なお、辞典および翻訳本は、「8.その他参考となる学術的業績(1)著書」に記入してください。
7. 「5.原著論文」は、レフェリー制のある学術雑誌に掲載されたものを記入してください。記入方法は学会誌によって異なりますが、応募者が主とする学会誌に統一して記入してください。なお、大学紀要等およびレフェリー制のないものに掲載された論文等は、「8．その他参考となる学術的業績」に記入してください。
8. 「8.その他参考となる学術的業績(4)学会発表」は、当該年を含む5年以内のものを、発表者全員の氏名（応募者氏名に下線）、演題、学会名、開催地（都道府県名、海外での発表は都市名と国名）、発表年月を記入してください。欧文による場合は、「5.原著論文」の記入方法と統一してください。
9. 「11.教育活動等」は、当該年を含む最近3年以内のものを記入してください。
10. 「12．特記すべき事項(2)その他の特記すべき事項」は、「1.学歴」～「12.特記すべき事項 (1)学会賞等の学術的表彰、教育表彰および社会における特別表彰」、「13.資格」、「14.研究費取得状況」に記入した事項以外で、特に記入する必要があると判断された事項を記入してください。
11. 「14.研究費取得状況」は、当該年を含む最近5年以内のものを記入してください。

（様式１：調査書記入例）　本文中の赤字は解説。解説に留意して作成してください。

調　　　　査　　　　書

○○大学○○学部准教授

ルビ機能（ルビサイズは6ポイント）により、ふりがなを付ける→　氏名

1968年 1月 1日生

1. 学歴　（高等学校卒業以降の学歴を記入）

1986年 3月 ○○高等学校卒業

1986年 4月 ○○大学○○学部○○学科入学

1990年 3月 ○○大学○○学部○○学科卒業

1990年 4月 ○○大学大学院○○研究科修士課程（○○専攻）入学

1992年 3月 同上修了

1992年 4月 ○○大学大学院○○研究科博士課程（○○専攻）入学

1996年 10月 同上修了

1996年 11月 ○○大学○○学部研究生

1997年 3月 同上終了

1. 学位

1990年 3月 ○○学士または学士（○○）（○○大学）

1992年 3月 ○○修士または修士（○○）（○○大学）

1996年 10月 ○○博士または博士（○○）（○○大学） 博士番号：950010

1. 職歴　（全ての職歴を記入し、職歴がない場合は、なし と記入）

1997年 4月 株式会社○○○○研究員

所属名（講座、部門、分野、部課等）、職名等（非常勤の場合は職名の後に(非常勤)と記入）

大学等において非常勤講師の経験がある場合、本務の場合は「3.職歴」に、兼務の場合は「11.特記すべき事項 (2)その他の特記すべき事項」に、それぞれ記入してください

1998年 11月 同上退職

1998年 11月 ○○大学○○○○研究員（非常勤）

2000年 3月 同上退職

2000年 4月 ○○大学助手○○学部

2006年 4月 ○○大学准教授○○学部

現在に至る

1. 著書　（発表年次順に記入し、応募者氏名に下線を引く）

　「：」や「、」は全角で記載。文末に「。」はつけないこと　西暦年は右寄せ

辞典および翻訳本は「8.その他参考となる学術的業績(1)著書」に記入

単著の場合

　著者名：書名、ISBN番号、出版社、発行地、最初頁-最終頁 出版西暦年

分担執筆の場合

　著者名：書名、ISBN番号、執筆部分の章・節等の題目、最初頁-最終頁、編者名、出版社、発行地 出版西暦年

(例)

(1)　鳥取太郎：塩集積土壌における農業、ISBN 4-13-020120-1、pp.1-130、博愛社、東京 2003

(2)　鳥取太郎：新版　日本の湖沼、ISBN 978-4-00-310101-8、第2章　湖山池の水質と浄化対策、pp.98-110、日本湖沼学会編、地球科学社、大阪 　 2010

1. 原著論文　（レフェリー制のある学術雑誌に掲載されたものを記入）

邦文の場合（著者名は「・（中点）」で区切り、項目区切りは「、」を用いる　　西暦年は右寄せ）

著者名・論文記載順に全著者名：論文名、雑誌名、巻：最初頁-最終頁 出版西暦年

欧文の場合（著者名は「,（半角カンマ）」で区切り、雑誌名は省略しないこと　　西暦年は右寄せ）

応募者がcorresponding author、責任著者、連絡著者等の場合は、「\*」をつける

その他の書式は調査書内で統一すること

1st Author, 2nd author, 3rd author : Title, Journal, Vol.: page - page year

(例)

(1) 鳥取太郎・湖山花子・大山 登：炭酸ガス処理に伴うカキ果実のアセトアルデヒド蓄積ならびに脱渋の特性、園芸学雑誌、68：1178-1183 2003

(2)　H. Koyama, T. Tottori \*,　N. Ohyama : Effect of water stress on fruit growth in pear trees. Journal of Horticulture Science, 30:1071-1078 2004

1. 博士学位論文

論文名（授与大学名） 西暦年

(例)

ラットにおける生殖毒性について（東京大学） 1996

1. 総説・評論等

記入方法は、「4.著書」および「5.原著論文」に準じ、該当するものがない場合は、なし　と記入

1. その他参考となる学術的業績　(大学紀要等レフェリー制のない論文等を記入)
2. 著書（4と重複しないもの）（辞典および翻訳本等）

記入方法は「4.著書」に準じ、該当するものがない場合は、なし と記入

1)　・・・・・・

2)　・・・・・・

1. 論文（5と重複しないもの）

記入方法は「5.原著論文」に準じ、該当するものがない場合は、なし と記入

1)　・・・・・・

2)　・・・・・・

1. 調査報告書

記入方法は「4.著書」および「5.原著論文」に準じ、該当するものがない場合は、なし と記入

1)　・・・・・・

2)　・・・・・・

1. 学会発表（当該年を含む5年以内に限る）

発表者全員の氏名（応募者氏名に下線）： 演題、 学会名、 開催地（都道府県名、海外での発表は都市名と国名） 発表年月

欧文による場合は「5.原著論文」の記入方法と統一

(例)

2011.3

1)　鳥取太郎・湖山花子：湖山池の水生生物の生態について、湖沼学会、鳥取県

2)　湖山花子・大山 登・鳥取太郎：カキ果実の肥大に影響を及ぼす要因の解析、園芸利用学会、東京都 2012.10

3)　T. Tottori, H. Koyama, N. Ohyama : Effect of water stress on fruit growth in apple trees. International Conference of 43rd Horticulture Science. Atlanta, USA 2012.12

1. 知的財産権（出願年月日は右寄せ）

該当するものがない場合は、なし と記入

発明者・他の発明者：発明の名称、特許権者、特許番号、出願番号、公開番号（公開年月日）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　出願年月日

(例)

1)　鳥取太郎・湖山花子：湖沼のアオコ除去技術、国立大学法人鳥取大学、特許第1111111号、特願2005-123456、特開2006-200000（2006.6.1） 2005.4.12

1. 所属学会等における活動状況

所属する学会・協会等の学術団体名、当該団体における活動状況（入会時期、会長・理事・評議員・学会誌編集委員等およびその就任期間）を記入し、活動歴がない場合は、なし と記入

(例)

湖沼学会（2000年入会、評議員：2008年～2010年）

園芸利用学会（2002年入会、編集委員：2010年～現在）

1. 教育活動等
2. 教育機関（当該年を含む3年以内に限る）

担当授業科目、単独分担の別（分担の場合は担当回数）、単位数、受講者数を学部、大学院別に記載。学生等による授業評価があれば、その評価値

教育歴がない場合は、なし　と記入

(例)

1)　学部

2010年 生態学、単独、2単位、67人、授業評価（5点満点）4.2

2011年 生態学、単独、2単位、60人、授業評価（5点満点）4.0

2012年 生態学、単独、2単位、63人、授業評価（5点満点）4.5

2)　大学院

2010年 生態学特論、分担（7回）、2単位、12人、授業評価（5点満点）3.9

2011年 生態学特論、分担（7回）、2単位、10人、授業評価（5点満点）3.8

2012年 生態学特論、分担（7回）、2単位、10人、授業評価（5点満点）4.0

1. 社会貢献（当該年を含む3年以内に限る）

審議会委員（任期）、ボランティア活動等を記入し、該当しない場合は、なし と記入

1. 所属機関での管理・運営（当該年を含む3年以内に限る）

所属機関の委員会委員（委員長の場合はその旨を記入）等を記入し、該当しない場合は、なし と記入

1. 特記すべき事項

(1) 学会賞等の学術的表彰、教育表彰および社会における特別表彰

連名受賞の場合は、受賞者全員の氏名（応募者氏名に下線）を記入し、該当しない場合は、なし と記入

(例)

　　1)　園芸利用学会奨励賞（2009年）

　(2) その他の特記すべき事項

「1.学歴」～「12.特記すべき事項 (1)学会賞等の学術的表彰、教育表彰および社会における特別表彰」、「13.資格」、「14.研究費取得状況」に記入した事項以外で、特に記入する必要があると判断された事項を記入し、該当しない場合は、なし と記入

(例)

　　1)　2000年4月～現在　　 ○○大学○○研究科研究指導教員

　　2)　2002年7月～9月 ○○国○○大学客員研究員（研究休職）

　　3)　2007年4月～2009年3月　　○○女子大学○○学部非常勤講師（兼務）

1. 資格

該当しない場合は、なし　と記入

(例)

　　1996年3月　衛生工学衛生管理者免許取得（免許証番号：第0012号）

　　2010年3月　獣医師免許取得（登録番号：第01234号）

1. 研究費取得状況（当該年を含む5年以内に限る）

(1) 科学研究費

代表、分担の別、種目、期間、総額：課題名

該当しない場合は、なし　と記入

(例)

1) 代表、基盤研究(C)、2005～2007年度、400万円：日本の湖沼に関する生態学的研究

2) 分担、基盤研究（B)、2009～2011年度、280万円：カキの脱渋技術の開発に関する研究

 (2) その他外部資金

代表、分担の別、種目、期間、金額：課題名

種目には、受託研究、共同研究、研究奨学金等を記入し、該当しない場合は、なし　と記入

 (例)

1) 分担、受託研究、2009～2010年度、80万円：湖山池の浄化方法の探索